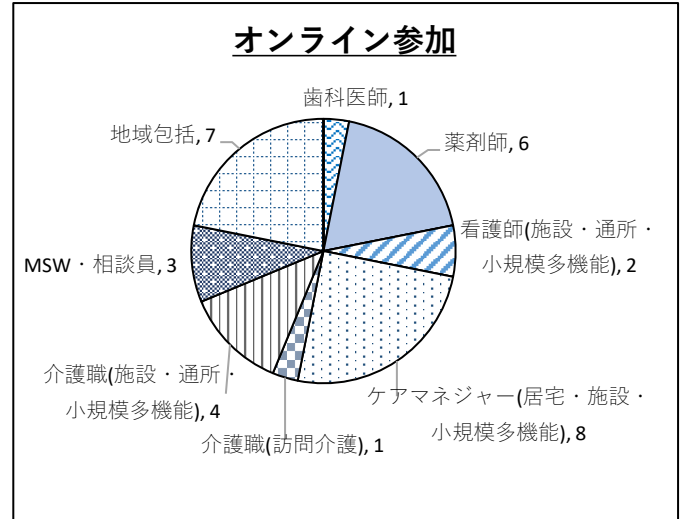
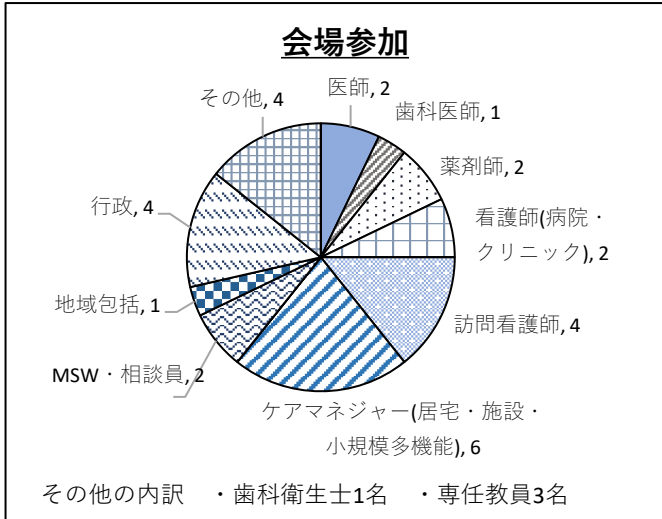


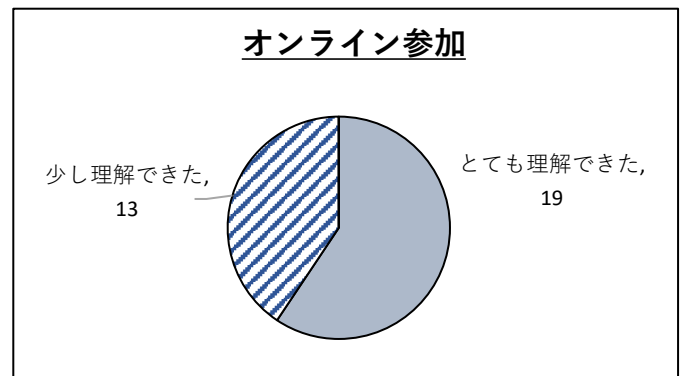
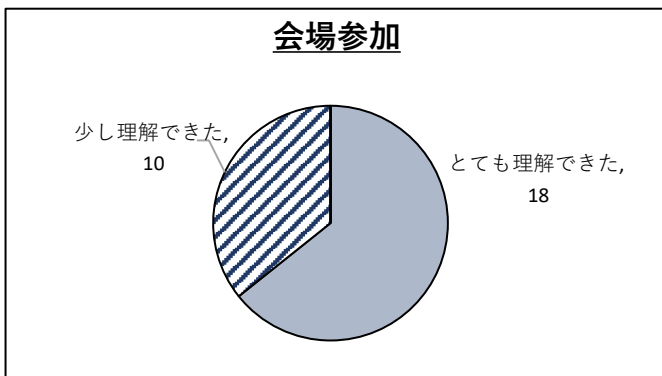
日時：令和3年1月22日(金) 19時～

回答率：会場参加 28人/34人中 (82.4%)、オンライン参加 32人/58人中 (55.2%)

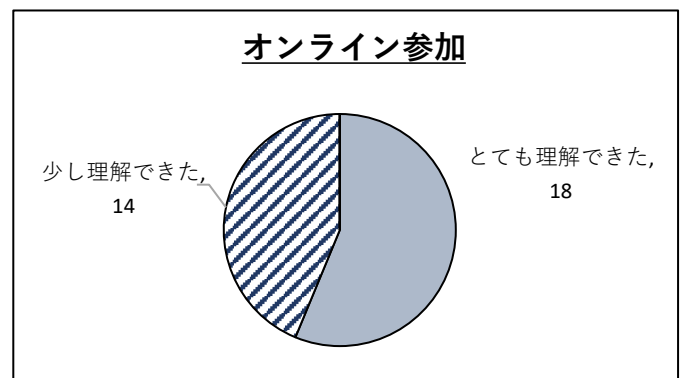
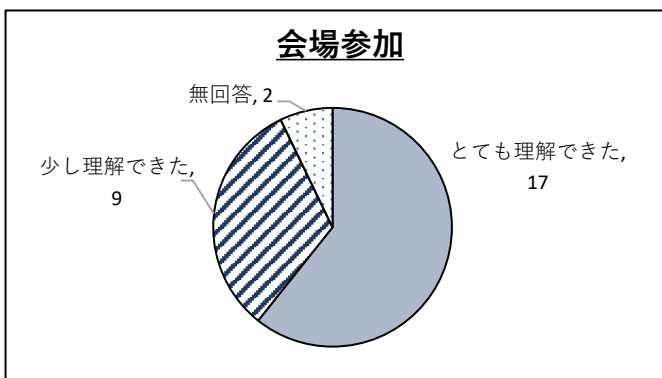
1. 職種について



2.2) 「地域包括支援センター・在宅介護支援センターについて」の内容は理解できましたか。



2.3) 「NPO法人高齢生活たすく会の紹介・活動報告等」について、理解できましたか。



2. 今回の内容についてお伺いします。

1) 「川薩地域入退院調整ルールの運用状況」について、感想等ご意見がありましたらお聞かせください。

会場	<ul style="list-style-type: none"> ・より浸透していることがわかりました。浸透が逆行しないように、コロナ禍の中、工夫して連携が円滑にできるように務めていきます。 ・良いルールだと思います。色々と充実していく中で薬局にも申し送りされる時があると良いなと思います。 ・入退院調整ルールがあることから、ケアマネとの書類のやりとりがしやすくなっているが、要支援者に関してのやりとりが病院側から動かないといけないことが多い、書類が届かない。FAXでの個人情報のやりとりが不可となるので郵送となり手間がかかる。 ・親が入院した時、ケアマネさんが色々動き連携を取って頂いた事がありました。退院後も安心して在宅療養が出来そうと、その時家族として思いました。 ・退院調整の状況について改善されていることが見て分かりやすい資料になっていました。 ・この研修で改めて医療と介護の連携の必要性について理解を深める事ができました。今後の仕事に活かしていきたいと思います。 ・そもそも調整ルールとは何をさすのか、よくわからず…でした。 ・アンケートの内容や、現在の状況がわかり、地域で生活している高齢者が多いことに驚いた。 ・シートの活用は、現在しておりません。記入欄が少なく、伝えたい内容が記入できない。 ・今後も改訂を重ねて使いやすい提供書にしていきたいと思います。アンケートを定期的に行って課題を探ってほしいです。 ・入退院調整ルールの運用がうまく進み、医療、介護連携がさらに活発にされていると感じた。 ・特に入院時は連携シートを活用しています。しかし先日、急に退院を言われたケースがあり、対応に苦慮しました。 ・コロナ禍でありながら、工夫をされて続けられているのだなと思った。(カンファレンス等)
WEB	<ul style="list-style-type: none"> ・日頃から連携しておくことの重要性について理解することができました。 ・入院時に病院側からも連絡をいただき、情報を早く伝えることができていると思います。 ・入院時の情報については、早急に出せるようにしたい。 ・ある程度システムが整備されていることが理解できた。 ・今はまだ薬剤師として関わる部分が少ないですが、得られた情報を共有して的確に服薬の指導が行えるようにしていきたい。 ・まだまだ皆の理解、特に病院からのルール運用を求める。 ・医療と介護の連携が今後、増々うまく流れていけたらと思います。 ・患者が退院後、安心して生活、療養できるように、多職種の連携が重要であること、又、患者の情報(認知症、精神面、家族の介護力等)提供は、サービスを行う上では必要であると感じた。 ・入院時は連絡がありさえすれば情報提供できるが、退院時がコロナ禍では工夫が必要となりますね。 ・連携にあたってのケアマネさん側の困っている点等を知ることができたので、今後改善が少しでもできるように意識して実践していきたい。 ・今回の研修での説明、資料において運用状況の現状が分かった。今後も入退院において、医療機関側からの情報提供を行い、日頃から連携を図っていくことを心掛けたい。 ・その他の記載は、その内容まで表記してほしかった。 ・コロナにより面会制限がある中なので、書面や電話で密に連携を図っていく必要があると改めて感じました。 ・入退院調整ルール運用の状況が理解できました。

2) 「地域包括支援センター・在宅介護支援センターについて」の内容は理解できましたか。

会場	<ul style="list-style-type: none"> ・薬局としても介護支援に積極的に参加したいと考えています。 ・事例があったのでわかりやすかった。在宅介護支援センターと外来患者の連携・ワーカーとの連携が非常に重要という事が理解できた。互いに持っている情報の提供・共有を図っていくことが大事である。 ・MSWと包括支援センターの方向性についての確認、退院後のフォロー依頼など、連携のより一層の強化が必要と思いました。 ・業務の具体的な事例で理解が進みました。 ・事例を通して現状がわかりやすかった。活動内容や在介の利用の仕方などよく理解できた。 ・各センターの役割、業務について詳しく学ぶことができた。
WEB	<ul style="list-style-type: none"> ・在介と包括との連携があって居宅も仕事がしやすいです。 ・病院、MSWとの連携がとても大事。MSWの話でより理解が深まった。 ・それぞれの事業所の役割が理解できました。 ・実際に各所がどういう動きをしているのか、知る良い機会となった。

3) 「NPO法人高齢生活たすく会の紹介・活動報告等」について、理解できましたか。

会場	<ul style="list-style-type: none"> ・必要とする方にはとても有難いと思います。 ・実際に利用されている方の具体的な事例があれば教えてほしい。 ・色々、難しそうと思いました。 ・転倒・骨折で150日間のリハビリを受けておられる方で、週3回病院へリハビリに行かれていて、週1回は妹さんの送迎支援がもらえるがそのうちの2回は、ヘルパーの送り支援(2,000円)、帰りはタクシー(2,800円)と、行き帰りだけでもお金がかかると困っておられる方がいる。他に何か社会資源はないかと探していたが、このような支援があると知り、是非本人へ知らせてみたいと思いました。 ・どんどん活用できたらいいと思います。 ・買い物や退院支援、送迎は行うとあるが、事故があった場合の対応はどうなっているか？ ・ゴミすでの収集所まで持って行くなどは行っているか？1回の費用は？ ・たすく会での活動や支援について知ることができた。地域で生活していく上で頼もしい存在だと感じた。 ・介護サービスだけでは支援できない事もあるし、認定を受けていなくても支援が必要な方もいらっしゃいます。独居高齢者も多く、うまく活用できればと思いました。 ・とても便利でありがたいサービスだと思いました。
WEB	<ul style="list-style-type: none"> ・このようなNPOが川内地域にある事は非常に有益であると思います。 ・これからの需要が増えそうですが、安心して利用ができればとてもいいサービスだと思いました。 ・今からもう少し広がっていったら良さそう。 ・いろんな支援内容があるのにびっくりしました。活用ができたと思いました。 ・実際、必要としている利用者に説明、紹介していこうと思います。 ・他のCMさんが一時期たすく会の方にお世話になっていたの、少し聞いていました。勉強になりました。 ・公的なサービスだけではなく、たすく会のような支援事業があれば支援できる方々の範囲が広がると思う。とても参考になった。 ・近場ですぐに頼れる家族や親族などがない方やケアマネにとってもありがたい活動だと思いました。 ・この様なサービスを提供している法人を理解しました。

3. 今後 企画してほしい内容、意見交換をしたい内容等ありましたら、ご自由にお書きください。

会場	<ul style="list-style-type: none"> ・リモートなら、日中(昼間)の時間で開催していただくとありがたいです。 ・お世話になりました。ありがとうございました。 ・医療ニーズがある方の地域での生活に必要な課題(社会資源)を含め、在宅、医療に求められるものは何かを考える。 ・声がこもり少し聞こえづらさがありました。勉強になりました。ありがとうございました。 ・可能でしたら資料もカラーで頂きたいです。(グラフが見づらい)
WEB	<ul style="list-style-type: none"> ・今回も問題の1つである情報共有、情報の一元化について ・ワーカーさんへのお願い 本人の病識が薄い方の支援導入へのサポートを一緒にして欲しい。 病識が薄い方への支援をみなさんどうされていますか？ ・医療と介護の法的制度の矛盾を理解する企画 ・薬の服薬や管理など情報共有した方がいい事例など ・今日、講演でたく会の活動状況を知ることができましたが、それ以外でNPO法人とか、地域で活動されている団体等があるのかを知りたいです。 ・包括の事例発表で、包括、医療機関、ケアマネ等の連携がうまくいった例を知りたいです。 ・身寄りのいない方の入退院について ・かかりつけ医が感じる不安に思う患者さん、つながって助かった事例とか困った事例

4. オンライン参加において、動画・音声はいかがでしたか。(オンライン参加者のみ回答)

